

第10回 薬事エキスパート研修会
～薬剤疫学の実際と今後への提言～

主 催 財団法人日本公定書協会
<http://www.sjp.jp>

わが国で「薬剤疫学」という言葉が広く使われ始めたのは、1990年代の中頃からです。当時の厚生省が、代替指標（サロゲートエンドポイント）である血中コレステロール値の低下作用を示す優れたスタチン系の薬剤について、国が先導する形で薬剤を長期間投与し、真のエンドポイントである心血管系の各種イベントの発症予防効果やその結果としての延命効果をフォローする長期投与試験を関係企業と開始しました。

米国では長期投与試験により、薬剤の真の有効性が証明されることが多くありますが、わが国では経験の乏しい分野でした。しかしながら、今後、医薬品の医療への真の貢献度を評価するためには、薬剤疫学的なフォローアップが要求される場合が増えてくるものと予想されます。

研修会では、薬剤疫学の重要性や、薬剤疫学により医療への真の貢献度が明らかにされたメバロチン(プラバスタチンナトリウム)とリポバス(シンバスタチン)についての長期投与試験の経験等についてご講演いただき、今後の薬剤疫学のわが国への普及を目指します。つきましては、このような趣旨にご賛同いただき、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成 19 年 6 月 13 日(水) 13:00～17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は協会ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記振替用紙にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の振替用紙

個人会員／非会員：

郵便局備えつけの振替用紙

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を振替用紙の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。折り返し聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

協会ホームページに記入例がございます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) 会社名、所属
- (2) 聴講者名：1枚につき1氏名
- (3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「10-疫学」の文字

* 銀行振込、現金送金はお遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受付しますが、申込み多数の場合には、特定の日をもって受付を締め切らせて頂

きます。その締め切り日は協会ホームページ (<http://www.sjp.jp>) に掲載いたしますので、是非ご確認いただくようお願い致します。

受付を締め切らない場合：平成19年6月4日(月)以降にお振り込みの場合は、ご連絡下さい。この時も受付状況等は協会ホームページに掲載しております。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

・ 日本公定書協会法人会員

1名につき 10,000円

(法人会員は1口につき1名が会員扱い)

・ 個人会員／非会員 1名につき 15,000円

3. 問合せ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

財団法人 日本公定書協会

電話 03-3400-5634(代)

03-3400-5644

(薬事エキスパート研修会担当)

4. 注意事項

○ 法人会員にお送りした規定の振替用紙は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。

○ 当日、撮影及び録音はお遠慮願います。

○ 原則として電話、FAXでの受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第10回 薬事エキスパート研修会
～薬剤疫学の実際と今後への提言～

13:00-13:10 開会挨拶 寺尾 允男（日本公定書協会会長）

13:10-14:00 大規模調査における安全性情報取扱い上の問題点
高橋 千代美
（第一三共株式会社信頼性保証本部安全性情報部長）

14:00-14:50 大規模市販後調査－J-LIT の経験と日本人のエビデンス－
板倉 弘重
（茨城キリスト教大学生生活科学部教授）

15:30-15:50 休憩

15:10-16:00 医薬品の薬剤疫学的評価の重要性
福島 雅典
（京都大学医学部附属病院探索医療センター検証部教授）

16:00-17:00 総合討論 司会 土井 脩
（日本公定書協会専務理事）

* 演題，講師，時間，会場等一部変更する場合がありますので，予めご了承下さい。

財団法人日本公定書協会
<http://www.sjp.jp>